

各 位

会 社 名 南海プライウッド株式会社  
 代表者の 代表取締役  
 役職氏名 社 長 丸 山 修  
 (コード番号 7887 大証第二部)  
 連絡者 取締役総務部  
 氏 名 長兼経理部長 田 井 雅 士  
 TEL (087)825-3615(代表)

## 業 績 予 想 の 修 正

## [ A ] 業績(単独)予想の修正について

1. 平成 13 年 3 月期(平成 12 年 4 月 1 日~平成 13 年 3 月 31 日)の業績予想については、平成 12 年 5 月 30 日決算発表時の業績予想を下表のとおり修正いたします。

## (1) 中間期(平成 12 年 4 月 1 日~平成 12 年 9 月 30 日)

	単 位	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想(A)	百万円	7,000	265	115
今 回 修 正(B)	百万円	6,800	245	180
増 減 額(B)-(A)	百万円	200	20	65
増 減 率	%	2.9	7.5	56.5

## (2) 通 期(平成 12 年 4 月 1 日~平成 13 年 3 月 31 日)

	単 位	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想(A)	百万円	14,200	730	380
今 回 修 正(B)	百万円	13,700	470	310
増 減 額(B)-(A)	百万円	500	260	70
増 減 率	%	3.5	35.6	18.4

2. 上記修正の理由は以下のとおりであります。

国内の住宅着工は、首都圏の分譲住宅が比較的好調に推移したものの、戸建ての注文住宅(持ち家)は昨年度に需要が先食いされたことや構造的な需要減が響いて減少傾向で推移いたしました。

当社の売上高につきましては、成長著しい収納材・床材が順調な伸びを示し、全体では前年同期比で若干の増加となりましたが、当初の計画を達成するには至りませんでした。

このような状況のもと、当期から導入されました退職給付会計の適用により、従来の会計制度からの変更時差異 105 百万円の引当超過分(割引率 3.0%、期待運用収益率 2.0%)を当中間期において一括して特別利益に計上することとしましたので、上記のとおり業績予想を修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、引き続き販売面で厳しい状況が予想されるなか、前回予想の達成は難しく、加えて上期に行った先行投資の償却負担や若干の在庫調整等を勘案し、上表のとおり減収減益になるものと予想します。

## 3. 参 考 前期の実績(平成 11 年 4 月 1 日~平成 12 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
中 間 期	6,721	260	146
通 期	13,732	562	481

[ B ] 連結業績予想の修正について

1. 平成 13 年 3 月期（平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日）の連結業績予想については、平成 12 年 5 月 30 日連結決算発表時の業績予想を下表のとおり修正いたします。

(1) 中間期（平成 12 年 4 月 1 日～平成 12 年 9 月 30 日）

	単 位	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想(A)	百万円	8,040	295	135
今 回 修 正(B)	百万円	7,854	306	243
増 減 額(B)-(A)	百万円	186	11	108
増 減 率	%	2.3	3.7	80.0

(2) 通 期（平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日）

	単 位	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想(A)	百万円	16,280	790	430
今 回 修 正(B)	百万円	15,800	530	380
増 減 額(B)-(A)	百万円	480	260	50
増 減 率	%	2.9	32.9	11.6

2. 上記修正の理由は以下のとおりであります。

平成 13 年 3 月期の連結決算財務諸表提出会社（当社）の中間期及び通期業績予想の修正にと  
もない、連結業績の修正を行うものであります。

3. 参 考 前期の実績（平成 11 年 4 月 1 日～平成 12 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
中 間 期	-	-	-
通 期	15,953	544	455

以 上